

平成 29 年度 新潟県立十日町高等学校 シラバス

教科名	科目名	学科・学年・類型	単位数
公民	政治・経済	普通科・2年・文系必修	2
教科書 副教材等	[主たる教材] 政治・経済（東京書籍） [副教材] 最新図説 政経（浜島書店） ニューコンパスノート政治・経済（とうほう）		

1 科目の目標

広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

2 科目の内容

- (1) 現代の政治 現代の日本の政治及び国際政治の動向に関心を高め、政治についての基本的な見方や考え方を身につける。
- (2) 現代の経済 日本及び世界の経済動向に対する関心を喚起し、現代経済の仕組みや機能について理解する。
- (3) 現代社会の諸課題 政治や経済に関する基本的理解を踏まえ、現代社会の諸課題を探究し、望ましい解決の在り方について考察を深める。

3 授業計画

月	内 容	配当 時間	指導上の留意点
1 学期	第1編 [第1章－第1節民主政治の基本原則] 1. 民主政治の成立 2. 法の支配 3. 基本的人権の確立 4. 現代の民主政治 5. 世界の政治体制 [第2節日本国憲法の基本原則] 1. 日本国憲法の制定 ○ 1 学期中間考査 2. 基本的人権の保障 3. 平和主義 [第3節日本の政治機構] 1. 国会 2. 内閣 3. 裁判所 4. 地方自治 ○ 1 学期期末考査 [第4節現代政治の特質と課題] 1. 戦後政治と政党 2. 選挙と政治意識 [第5節現代の国際政治]（夏期課題）	25	・単元毎に学習理解度チェックシートを記入させ、学習による知識の変化を生徒に自覚させることで、内容に対する関心と意欲を育てるとともに、授業の要点を考えながらまとめる力を養う。
2 学期	[第4節] 3. 世論と政治参加 [第2章－第1節現代の資本主義経済] 1. 資本主義体制の発展 2. 現代経済の特質 [第2節現代経済のしくみ] 1. 経済主体と経済の循環 2. 生産のしくみと企業 3. 市場経済の機能と限界 ○ 2 学期中間考査 4. 国民所得と経済成長 5. 金融のしくみと機能 6. 財政のしくみと機能		・夏期、冬期の課題を通じて、自らテーマを設定して資料を収集し、情報を効果的に活用する力を身につけさせる。 ・授業全体を通じて

	<p>○2学期期末考査</p> <p>〔第3節日本経済の発展と産業構造の変化〕</p> <p>1. 経済再建から高度成長へ 2. オイル・ショック後の日本経済</p> <p>3. 日本経済の現状</p> <p>〔第5節国民経済と国際経済〕（冬期課題）</p>	25	<p>プリントや副教材で、基本的な事柄を理解し、知識の定着を図る。</p>
3 学期	<p>〔第4節福祉社会と日本経済の課題〕</p> <p>1. 公害と環境保全 2. 消費者問題 3. 農業・食料問題</p> <p>○学年末考査</p> <p>5. 雇用と労働問題 6. 社会保障と福祉</p> <p>4. 中小企業の現状と課題</p> <p>第3章 現代社会の諸課題【探究活動】</p> <p>〔選択テーマ〕</p> <p>2. 自立する中小企業：課題「チャレンジ！トオコン」</p> <p>これまでの学習のまとめ及び知識の実践として、本校所在地で実施されるビジネスコンテストのテーマに沿って、商品企画を実践し、グループ毎にプレゼンテーションを行う。</p>	20	<p>・ペアワークやグループ活動を活用する。</p>

計 70 時間（55 分授業）

4 学習評価

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
評価の 観点 ・ 規準	現代の政治、経済、国際関係に対する関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について考察できる。	現代の政治、経済、国際関係に関わる事柄から課題を見だし、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現できる。	現代の政治、経済、国際関係に関わる諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用できる。	現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や、本質、特質及び動向を捉える基本的な概念や理論を理解し、その知識を身に付けた。
評価 方法	・授業の取り組み状況（協同作業含む） ・提出物の記入状態	・学習理解度チェックシートの記入内容	・夏期、冬期課題の提出物内容 ・授業内での資料活用状況	・定期考査

5 担当教員

公民科教諭

6 担当者からのメッセージ

目標の一つは、新聞の政治・経済・国際関係欄を自力で理解できることです。有権者・成人年齢が議論に挙がる今だからこそ、自分で考えることを大切にしてください。

私たちが持つ権利は？社会保障はどうなっているの？自分にできることは何だろう？・・・その時になって困らないように、高校で、政治・経済の基礎を身につけておきましょう。